予算決算常任委員会

平成21年12月10日午前9時00分から第1会議室で開かれた。

1. 出席委員

◎木田 守彦	○小林 誠	嶋田 善行
浦野 圭司	辻 善次	木澤 正男
中西 議長		

2. 理事者出席者

町 長	小城 利重	副 町 長	芳村 是
教 育 長	栗本 裕美	総 務 部 長	池田 善紀
総 務 課 長	乾 善亮	企画財政課長	西川 肇
住民生活部長	西本 喜一	福 祉 課 長	佐藤 滋生
国保医療課長	植村 俊彦	国保医療課参事	寺田 良信
都市建設部長	清水 建也	建 設 課 長	加藤 保幸
上下水道部長	谷口 裕司	上 水 道 課 長	清水 孝悦
下 水 道 課	上田 俊雄	教委総務課長	野崎 一也

3. 会議の書記

議会事務局長	藤原 伸宏	同 係 長	安藤 容子
--------	-------	-------	-------

4. 審査事項

別紙の通り

開会(午前9時00分)

署名委員 浦野委員、辻委員

委員長 おはようございます。全委員出席されておりますので、ただいまより、
予算決算常任委員会を開会いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

はじめに、町長の挨拶をお受けいたします。小城町長

(町長挨拶)

委員長 それでは、本委員会の会議録署名委員を私より指名いたします。

署名委員に、浦野委員、辻委員のお二人を指名いたします。両委員に
はよろしく願います。

本日の審査案件は、お手元に配付しておりますとおりでございますので、
レジメに沿って進めてまいりたいと思います。

まずはじめに、本会議からの付託議案であります(1)議案第45号、
平成21年度斑鳩町一般会計補正予算(第7号)についてを議題といた
します。理事者の説明を求めます。 西川企画財政課長。

企画財政 議案第45号 平成21年度斑鳩町一般会計補正予算(第7号)につ
課長 きまして、ご説明を申し上げます。

まず、議案書を朗読させていただきます。

(議案書朗読)

企画財政 本補正予算は、前回の委員会でご説明させていただきました内容と変
課長 りはございませんが、本町議会定例会に提出させていただいております、
平成21年度斑鳩町一般会計補正予算書(第7号)によりまして、ご説
明をさせていただきます。恐れ入りますが、補正予算書の7ページをお
開きいただけますでしょうか。

まず、歳入からご説明をさせていただきます。はじめに、第14款 国庫支出金、第1項 国庫負担金、第1目 民生費国庫負担金では、児童手当の交付が当初の見込みを上回りますことから、その国庫負担相当額211万9千円の増額補正を行うものです。

次に、同じく国庫支出金の第2項 国庫補助金、第1目 民生費国庫補助金では、国の第1次補正予算により実施が予算化されておりました子育て応援特別手当が、その執行を停止されたことから、一部執行済みの事務費用分を除く3,064万1千円の減額補正を行うものです。

また、第4目 教育費国庫補助金では、幼稚園就園奨励費補助金において、私立幼稚園就園奨励事業の認定者数が当初見込みを上回りますことから、その国庫補助相当額43万5千円の増額補正を行うものです。

続きまして、8ページをお開きいただけますでしょうか。第15款 県支出金、第1項 県負担金、第2目 民生費県負担金では、国庫負担金と同様の理由によりまして、児童手当に係る県費負担額84万7千円の増額補正を行うものです。

次に、同じく県支出金の第2項 県補助金、第2目 衛生費県補助金では、国の第1次補正予算で要望しておりました法隆寺iセンターの省エネ電灯の導入と空調機の更新が採択されたことから、地域環境保全対策費等補助金1,700万円の追加補正を行うものです。

次に、新型インフルエンザワクチンの接種において、低所得者の方の経済負担軽減を目的とした助成制度が創設されましたことから、新型インフルエンザワクチン接種助成費臨時補助金1,353万8千円の追加補正を行うものです。

また、第4目 商工費県補助金では、要望しておりました緊急雇用創出事業補助金が交付決定されたことから、435万6千円の追加補正を行うものです。

次に、第8目 総務費県補助金では、国の第1次補正予算によりまして、全額国費で全国瞬時警報システムが整備されますことから、防災情報通信設備整備事業交付金443万8千円の追加補正を行うものです。

続きまして、9ページをお開きいただけますでしょうか。

第17款 寄附金では、ふるさと納税等のご寄附があったことから、第1節の教育費寄附金で14万6千円、第2節の総務費寄附金で3万円、第3節の福祉費寄附金で2万5千円、第4節の都市計画費寄附金で2万円のそれぞれ追加又は増額補正を行うものです。

続きまして、歳出のご説明を申し上げます。

本補正予算では、まず一般職では人事院勧告に準拠しました給料表の減額や12月支給の期末手当、勤勉手当の0.15ヶ月分の減額及び共済組合負担金率の改正に伴います増額等を、それぞれの費目において、所要額を計上させていただいております。また、特別職でも期末手当0.10ヶ月分の減額補正等につきましてそれぞれ計上させていただいております。

それでは、人件費以外の主な歳出の内容につきまして、ご説明をさせていただきます。恐れ入りますが10から11ページをお開きいただけますでしょうか。

はじめに、第2款 総務費、第1項 総務管理費、第1目 一般管理費では、要望しておりました緊急雇用創出事業補助金が交付決定されたことから、第7節 賃金において530万円の増額補正をお願いしております。次に、同じく一般管理費の第13節 委託料において、全国瞬時警報システム構築業務委託料443万8千円の追加補正をお願いするものです。また、第3目 財政管理費の第8節 報償費におきまして、ふるさと納税のお礼として4万5千円の増額補正をお願いしております。また、第6目 企画費の第25節 積立金において、総務費寄附金の3万円につきまして、文化振興基金への積立を希望されておりますことから追加補正を行うものです。

続きまして、14から15ページをお開きいただけますでしょうか。15ページの第3款 民生費、第1項 社会福祉費、第1目 社会福祉総務費の第25節 積立金において、福祉費寄附金のうち、福祉基金への積立を希望されました5千円について増額補正を行うものです。次に、第28節 繰出金において、国民健康保険事業特別会計の人件費の予算補正に伴います、国保職員給与費等繰出金43万1千円の増額補正をお

願いしております。また第10目 介護保険事業繰出費の第28節 繰出金におきまして、介護保険事業特別会計の人件費の予算補正に伴いまして、介護保険職員給与費等繰出金23万8千円の減額補正をお願いしております。

続きまして、16ページをお開きいただけますでしょうか。第3款 民生費 第2目 児童福祉費 第1目 児童福祉総務費の第19節 負担金補助及び交付金において、幼児2人同乗用自転車購入費助成金99万円の追加補正をお願いしております。なお、福祉費寄附金のうち1万円につきましては、児童福祉の充実に充当を希望されておりますことから、第1目 児童福祉総務費に充当を行っております。次に、第2目 児童手当費の第20節 扶助費におきまして、児童手当の交付見込みが当初の見込みを上回りますことから381万5千円の増額補正をお願いしております。続きまして、17ページでございます。第5目 子育て応援特別手当支給事業費では、その執行を停止しましたことから第19節 負担金補助及び交付金等合せまして3,064万1千円の減額補正をお願いしております。

続きまして、18ページをお開きいただけますでしょうか。第4款 衛生費、第1項 保健衛生費、第2目 感染症予防費では、新型インフルエンザワクチンの低所得者向け助成事業を実施いたしますとともに、妊婦・1歳未満の保護者・1歳から中学生までの子どもについて、その所得状況にかかわらず町独自で助成を行いますことから、第19節 負担金補助及び交付金の新型インフルエンザワクチン接種助成金3,630万4千円とその他需用費、役務費を合わせまして3,637万7千円の追加補正をお願いしております。なお、福祉費寄附金のうち1万円につきましては、健康づくりの推進に充当を希望されておりますことから、第4目 健康増進事業費に充当を行っております。

続きまして、21ページをお開きいただけますでしょうか。第6款 商工費、第1項 商工費、第6目 法隆寺iセンター管理費では、法隆寺iセンターの省エネ電灯導入及び空調機の更新を実施のため、第15節 工事請負費で1,700万円の追加補正をお願いしております。

続きまして、22ページから23ページでございます。まず、23ページの第7款 土木費 第4項 都市計画費 第2目 公共下水道費では、公共下水道事業特別会計の人件費の予算補正に伴いまして、公共下水道管理費繰出金等2万1千円の減額補正をお願いしております。

次に、第4目 公園費では、緊急に対応すべき公園遊具の修繕のため、第11節 需用費で126万円、及び修繕を実施されます自治会への助成のため、第19節 負担金補助及び交付金25万2千円のそれぞれ増額補正をお願いしております。なお、都市計画費寄附金の2万円につきましては、景観保全に充当を希望されておりますことから、第7目 景観保全対策事業費に充当を行っております。

続きまして、24ページから25ページでございます。25ページの第9款 教育費、第1項 教育総務費、第3目 私立学校振興費では、私立幼稚園就園奨励事業の認定者数が当初見込みを上回ることから、第19節 負担金補助及び交付金130万5千円の増額補正をお願いしております。

次に、26ページから27ページでございます。27ページの第5項 社会教育費、第4目 文化財保存費では、教育費寄附金にいただいたご寄附について、斑鳩の里歴史文化遺産保存・活用基金へ積立を行うことから、第25節 積立金におきまして13万円の増額補正をお願いしております。なお、教育費寄附金のうち残り1万円につきましては、埋蔵文化財の発掘調査に充当を希望されておりますことから、財源振替を行っております。また、第6目 図書館管理運営費では、町立図書館メモリアルブックにご寄附をいただきましたことから、次の28ページの第11節 需用費で図書購入費6千円の増額補正をお願いしております。

最後に、29ページでございます。第12款 予備費では、今回の補正に要します財源として2,938万4千円を充当させていただき補正をお願いしております。

それでは、1ページにお戻りいただけますでしょうか。

予算書を朗読させていただきます。

(予算書朗読)

企画財政課長 以上で、議案第45号 平成21年度斑鳩町一般会計補正予算（第7号）につきましてのご説明とさせていただきます。

何とぞ、温かいご審議をたまわりまして、原案どおりご可決いただきますようお願い申し上げます。以上でございます。

委員長 説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。 木澤委員。

木澤委員 商工費のiセンターのところの1,700万円の補正ですね。これは国のほうの補助金が認められて、こういうふうに予算がついたということですけども。これをしていただくことには問題はないと思って入るんですけども、結構大きな金額で、空調と蛍光灯の付け替えということでされるんですけども、このiセンターで蛍光灯の付け替えっていうか、他の所にもある中で、ここだけこだけ大きな金額がついたということで、特にLEDに付け替えるということで、どういう効果があって、なんでiセンターだけなんかというところが気になったんで、お尋ねしておきたいと思います。

委員長 清水都市建設部長。

都市建設部長 まず、なぜ、iセンターにこういう形だけっていうご質問でございますけども、今回私ども申請させていただきました、この地域ニューディール基金、これは奈良県でつくられている基金でございますけども、これに応募させていただいて一番効果が上がる、また老朽化が激しいといったことですね、古くからある器具について、取り替えによって効果がよくなるっていうか、いろいろ判定の基準があるんだと思うんですけども、それについて認められたということでございます。私ども申請は、この基金を使って申請をするのが一番iセンターに適當であるといったことさせていただきます。実際の効果でございますが、1,700万

と申しましても、そのうちの1,200万につきましては空調設備の修繕という形であげさせていただきまして、残りの500万につきましては普通の蛍光灯をLEDに変えるといった形をとらせていただいております。このLEDの電球に変えることによります効果でございますけども、私ども、試算でございますけども、約年間電気料金が80万円削減される見込みという形で思っております。

木澤委員　　そうしたら今後の効果の検討も含めてということできているということで、今後iセンター以外にも広げていく等も結果を見て検討していかれるのかなと思うんですけども。こうしてiセンターについても経費削減が図られることについてはいいことだと思うんですけども。前々からちょっと議会の中でも西岡棟梁の展示の関係についてもいろいろ県からの補助金等でないということで、なかなか修復ができないというふうにおっしゃってききましたけども、今状況としては変わってないのかなと思うんです。今回こうした地域活性等の交付金の対象にならなかったのかなと、ちょっと気になったんですけども、その点については国のほうに要望とかはされているんでしょうかね。

町　長　　西岡棟梁の2階の関係等について、県の関係ですから、県にお願いしてもなかなかできない。今、清水部長申しましたように、こういう関係の、iセンターというのは県が施設を造ったものですから、あとの維持管理は全部町がやると。そういう中でも覚書っていうのが、そういうものが明白になっていないということで、結局高額な関係で、こないだもあの機械を設置した野村工芸社を呼びましてですね、野村工芸社さんに聞きますと、もう部品がないんだと。前の機械で機種が、そしたらもうお宅はええ時は皆売ってしもおて、あと悪なったらそれはでけへん、部品がないんですとおっしゃるものやから。そういうことになってきたら、これは多額の金がかかることやから、県も十分そういうことを配慮して、いいものはその時はものすごくいいものことができましたとって、皆さん方は感動されてますけれども、何年かしたら悪くなるということで、そ

うということだったら設置したところが後々やっぱりアフターケアは大変なものですということは申し上げたんですけども。いっぺん見させてもらっても部品が変わってますからということですから、あとどういう形で野村工芸社が県と話をするなかですね、県にしても、おそらくもう金がないということですから、これはもう頼っていても仕方ないと思えますけれどもね。いずれにいたしましても、2階の関係等については、新しい機種をつくるとしたらなんぼかかるのか、そこらへんも出させていただいてですね、そういうことをしていかなと、ただ調整中という紙ばかり貼ってですねしてたら、私どもの名誉町民でもございます西岡棟梁も、来年、亡くなられてちょうど13年ですか、なりますからね。そのことを考えますと、やっぱりわれわれとしては名誉町民の名誉ということもございますから、その点についてはやっぱりそういうことを県等に申し上げて、なんとか、西岡棟梁の関係等についてはやっていきたいと思っております。

木澤委員 部品がないということで、新しくすると費用がかかるということなんです。まあ難しい問題ではあるかとは思いますが、やはり、あのままの状態で置いとくわけにもいかないなという思いはありますんでね。私どものほうも県会議員を通じて、やっぱり地域の歴史文化を活かしていくために、県がしっかり補助金を出していくべきではないかと。そういうことも合わせて県のほうにも言っていったらと思いますし、またぜひ目途がつかまりましたらですね、議会のほうにもご一報いただきたいなというふうにお願いをしておきたいと思えます。

すいません、続きます。今回ですね、人事院勧告にかかわって補正予算を人件費の関係で計上していただけてますけども、その中で人勧の関係だけじゃないし、残業代等もここに計上されているということで、ちょっと私気になってたんですけども、だいたいですね、職員さんの年間の残業時間っていうのが、どういうふうになっているのかなっていうのを、ちょっとこの機会に教えていただきたいと思うんですけども。改正があったのが60時間以上ということですけども、だいたい30時

間、60時間と、そして最高でどれぐらいの残業時間があるのかなというので、分けてちょっと整理をしていただいていると思いますので、そのことについてお聞かせいただけますでしょうか。

総務課長 職員の時間外勤務の関係でございますけれども、平成20年度の数字で申し上げますと、1ヶ月に30時間以上時間外勤務がある、1ヶ月でも30時間以上職員の数で申し上げますと55名がございます。1ヶ月に60時間以上の時間外勤務がある職員については20名ということでございます。それから、これも平成20年度でございますけれども、1ヶ月で最高の時間外勤務をした職員の時間でございますけれども、1ヶ月で142時間の時間外勤務がございました。以上でございます。

木澤委員 議会運営委員会の時にも少し総務部長にもお尋ねをしていたんですけども、この残業の中でどうしても避けられない選挙等の残業等があるというふうにお聞きしていたんですけども。20年度というのは選挙もなかったかなというふうに思うんですけども、19年度と比較して最高の残業時間っていうのは、20年度と19年度とではどう違うんでしょうか。

総務課長 平成19年度で、選挙ございましたけれども、この最高の勤務時間をした月については、選挙の時期にかからなかったんですけども、時間で言いますと139時間ということで、平成20年度とほとんど変わっておりません。

木澤委員 そしたら選挙がなくても142時間ということで、月ですよ、月142時間っていうと、厚生労働省が示すような過労死の基準にも係わってこようかなというふうに、ちょっと思うんです。まあこれはそやから管理職じゃない方については、こうして残業時間がはっきりと出てきますけど、管理職の方なんかは、特にこれ以上されていることもあるのかなというふうにもお察しはするんですけども。こうしたことについて

やはりこうした数字が出てきているというのは、残業代を支払うということについて問題視するわけじゃなしに、時間がやはりこんな時間に1ヶ月残業するというのは職員さんの負担というのがものすごいかなと思いますんでね。このことについてはやはり改善の検討をしていっていただきたいなというのが1点と、あと臨時職員さんっていうのは基本的に8時間以上、残業があるものなのか、その辺もちょっと教えてください。

総務課長

1点目の関係でございますけれども、これにつきましては当然時期的なものがございますので、通常ならしますと、少ない時期も当然ございますので、そういった業務が集中するといいますか、期限が迫られているような関係の業務でしたら当然その月に集中してしまうというのがございますので、当然そういったこともございますので、そういった時には臨時職員で採用したいということもございますけれども、ものによっては当然そういう部署が出てくるということでございます。

次の2点目の質問ですけれども、臨時職員については基本的には時間外勤務はしていただいておりますが、たとえばイベントとか行事関係で休日に手伝っていただく、時間外をしていただくということは一部ございます。以上でございます。

木澤委員

臨時職員さんも場合によってはイベント等で残業という形であるということですね。正規の職員さんを減らしてだんだん臨時職員さんを増やしていっているという状況の中で、基本的には残業しないということで対応いただいておりますけれども、やはりどうしても今後臨時職員さん、こうした形で、臨時職員さんの負担も増えてくるんじゃないかなというふうに思います。ただ単に職員を増やせばこの残業時間は一概に解決するのかなというところは思います。その人でなければできない仕事等があると思いますんでね。ただ、そうしたことについてもやはり今後の職員の適正化、職員数の適正化計画の中でですね、どのようにして改善をしていくのか、このことについてもちょっと問題提起をさせていただいておきたいと思います。私、人勸に係わって条例改正の議案については反

対をさせていただきましたし、そのことについては今も納得はしていませんけれども、補正予算についてはあえて反対はいたしませんので、そのことも合わせて申し上げておきたいと思えます。

委員長 他に。浦野委員。

浦野委員 11ページの総務費の中で、全国瞬時警報システム構築となっているんですけども、委託費ですけども、この警報システムの概要についてお聞かせ願えますか。

総務課長 この、全国瞬時警報システムでございますけれども、緊急地震速報でございますとか、弾道ミサイルの情報等の対処に時間的な余裕がないというような事態に対する緊急情報を住民の方に瞬時に伝達するために、全国の市町村に一斉に整備されるということでございまして、当町でもこの整備をしていくということで、補正予算を計上させていただいているということでございます。これにつきましては、そういった弾道ミサイルの情報なんかは必要な情報ですね、通信衛生を利用して瞬時に市町村のほうに連絡をされてくるということで、これを受けて町のほうは今年の1月1日から運用しております防災情報メール配信システムに接続をさせまして、今メールを登録をさせていただいております方に情報を瞬時に伝達をしていくということでございます。以上でございます。

浦野委員 メール登録者は今何名ですか。

総務課長 11月30日現在でございますけれども、1,392件でございます。

委員長 他にございせんか。 木澤委員。

木澤委員 以前にもちょっとお尋ねをして、私わからないなということでお聞かせいただいたんですけども、寄附金を受けますよね、指定寄附金。そ

れによって財源振替をしていただいているんですけども、財源振替をするということ自体は別に理解はしているんですけども、入ではこの区分、金額のところで数字があがってきているんですが、出のところで項目はあがってきているけれども、金額があがってこないということは、やはり見た時にね、ちょっと分かりづらいなと思うんです。予算書の載せ方としてね、これは入が例えば1万円だったら1万円で10とあがってくるんやったら、出でも金額のところで振替するというのが分かりますんで、1万円というふうにあげる予算書の計上の仕方っていうのはできないんですかね。

総務部長 予算書で、例えば16ページをご覧いただきたいと思うんですけども、例えば児童福祉総務費の中で、特定財源1万円、一般財源145万1千円ということで、ここで財源振替、その他として入ってきているということで、財源振替していると。そして説明の中で寄附金として財源振替させていただいておりますと、説明をいたしておりますんで、ご理解いただきたいと思います。

木澤委員 その他のところでね、ここにあがっているのはわかるんですけども、金額のところではあげるとおかしくなるんですかね。

総務部長 そうですね、特定財源として、国、県支出金、地方債、その他でございまして、どうしても表示としては予算書上こういう表示になりますので、うちの説明の中でそういう説明をさせていただいておるということでご理解をいただきたいと思います。

委員長 よろしいですか。他にございませんか。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本案については、当委員会として原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長 異議なしと認めます。よって議案第45号については、当委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

続きまして、(2) 議案第46号 平成21年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)についてを議題といたします。

理事者の説明を求めます。 植村国保医療課長。

国保医療課長 それでは、議案第46号 平成21年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)についてご説明申し上げます。

まず議案書を朗読いたします。

(議案書朗読)

国保医療課長 今回の補正の主な内容につきましては、人事院勧告に準じます給与の改正、また共済組合負担金及び時間外勤務手当等に係ります人件費のみでございます。

まず歳入からご説明を申し上げます。補正予算書の4ページをお開きいただきたいと思います。第8款 繰入金、第1項 他会計繰入金、第1目 一般会計繰入金でございます。第2節の職員給与費等繰入金といたしまして43万1千円の増額をお願いするものでございます。

次に5ページでございます。歳出をご説明いたします。まず第1款 総務費、第1項 総務管理費、第1目 一般管理費でございます。人事院勧告に準じます給与等の改正によります給料、期末手当及び勤勉手当の減額、また時間外勤務手当及び共済費の増額と合わせまして36万1千円の増額をお願いするものでございます。

次に5ページから6ページにかけてでございますが、第2項 徴税費、

第1目 賦課徴収費でございます。先ほどと同様に給料、職員手当等、
共済費、合わせまして7万円の増額をお願いするものでございます。

それでは1ページにお戻りいただきたいと思います。朗読いたします。

(予算書朗読)

国保医療課長 以上で、平成21年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）についての説明といたします。よろしくご審議いただきまして、原案どおりご承認賜りますようお願いいたします。

委員長 説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。
お諮りいたします。本案については、当委員会として原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長 異議なしと認めます。よって議案第46号については、当委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

次に、(3) 議案第47号、平成21年度斑鳩町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

理事者の説明を求めます。 上田下水道課長。

下水道課長 それでは、議案第47号 平成21年度斑鳩町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）についてをご説明申し上げます。

まず、はじめに議案書を朗読させていただきます。

(議案書朗読)

下水道課
長

それでは、内容につきましてご説明申し上げます。

今回の補正予算につきましては、人事院勧告に伴います人件費の減額補正を行うものでございます。

まず、補正予算書の事項別明細書の歳入より説明させていただきます。

4 ページをご覧くださいませでしょうか。第4款 繰入金、第1項 一般会計繰入金、第1目 一般会計繰入金で、人事院勧告等に伴う人件費に係ります一般会計繰入金といたしまして2万1千円の減額。

次に歳出でございます。5 ページをお願いいたします。第1款 公共下水道費、第1項 下水道管理費、第1目 下水道総務費でございます。給料、職員手当等、共済費で2万9千円の増額。次に、6 ページをお願いいたします。第1款 公共下水道費、第2項 下水道新設改良費、第1目 管渠等新設改良費でございます。給料、職員手当等、共済費で5万円の減額でございます。次に、第3款 公債費、第1項 公債費、第1目 元金でございます。下水道新設改良費の減額に伴いまして公債費の財源振替を行うものでございます。それでは、1 ページにお戻りいただけますでしょうか。

朗読をもちまして、ご説明とさせていただきます。

(予算書朗読)

下水道課
長

以上、議案第47号 平成21年度斑鳩町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)についての説明とさせていただきます。

なにとぞ、原案どおりご承認賜りますようお願い申し上げます。

委員長

説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。

(な し)

委員長

ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。
お諮りいたします。本案については、当委員会として原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。よって議案第47号については、当委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

次に、(4) 議案第48号 平成21年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)についてを議題といたします。

理事者の説明を求めます。 佐藤福祉課長。

福祉課長

議案第48号 平成21年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について、ご説明させていただきます。

まず議案書を朗読させていただきます。

(議案書朗読)

福祉課長

今回の補正の内容につきましては、人事院勧告等に伴います職員の人件費所要額の補正であります。概要について、説明させていただきます。補正予算書の4ページをお開きいただきたいと思います。

まず、歳入予算につきましては、第8款 繰入金、第1項 一般会計繰入金、第4目 その他一般会計繰入金におきまして、職員の給与に係ります23万8千円の減額補正をお願いするものであります。

次に、5ページの歳出では 第1款 総務費、1項 総務管理費、第1目 一般管理費におきまして、職員の人件費に係ります給料、職員手当等、共済費におきまして、合計で23万8千円の減額補正をお願いするものであります。

次に、補正予算書の1ページにお戻りいただきたいと思います。

朗読いたします。

(予算書朗読)

福祉課長 以上で、議案第48号 平成21年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)についてのご説明とさせていただきます。ご審議いただき、原案通り承認賜りますようよろしくお願いいたします。

委員長 説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。
木澤委員。

木澤委員 前回の委員会でしたかね、今回の人勧でだいたい1人平均5万5千円分ぐらいの減額とお聞きしたんですけども、このところも減になったんですけども、残業等のあれもあって人件費でプラスになっているところもありながら、ここはちょっと金額大きいなと思うんですけども、これは4人分で減額になったと単純に見ておいたらいいんですかね。

福祉課長 減額につきましても、職員の給料の状況ですね、それによって、例えば定昇におきましても若年層と高年齢層では違いますし、そういうことで変わってくると思います。

委員長 よろしいですか、他にございませんか。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。
お諮りいたします。本案については、当委員会として原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。よって議案第48号については、当委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

次に、(5) 議案第49号 平成21年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第3号) についてを議題といたします。

この議案第49号については、お手元に配布しておりますように、町から議案訂正の申し出が議長に提出されております。議案の審議に入ります前に、まず議案の訂正について理事者から説明をいただきたいと思っております。理事者の説明を求めます。 谷口上下水道部長。

下水道部長

それでは、議案の訂正につきましてご説明をさせていただきます。

議案の訂正についての別紙及び、議案第49号 平成21年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第3号) に沿いましてご説明を進めさせていただきます。まず、当委員会に付託されております議案第49号 平成21年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第3号) におきまして、誤りがございましたことから、斑鳩町議会規則第20条の規定に基づきまして、中西議長宛てに12月8日付けで訂正のお願いをいたしております。

訂正の箇所でございます。まず補正予算書、平成21年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第3号) の1ページでございます。第2条中、(科目) 第4款 予備費(既決予定額) 1千万円(補正予定額) 9万3千円の減(計) 990万7千円と表しておりますが、この1行を削除していただき、その下段の行にございます第1項 予備費を第4項 予備費に訂正をお願いいたします。

次に、予算に関する説明書の3ページでございます。1、実施計画でございます。収益的支出の支出の表中、第1款 予備費の行を1行削除していただき、第1項 予備費を第4項 予備費に訂正をお願いいたしますとともに、本件の取り扱いにつきましてはよろしく願いいたします。今後、このようなことが無いよう確認作業の徹底に取り組むとともに、再発防止に努めてまいりたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。以上です。

委員長

ただ今、部長から議案の訂正について説明をいただいたわけですが、以前にもありましたように、議案の提出にあたっては、誤りの無いように、十分精査をされ提出していただきたいと思います。

それでは、この議案第49号の審議について委員皆さんにご相談をさせていただきたいと思います。

この議案の訂正については、本会議最終日に議会の許可を得る手続きがとられることになるわけですが、ただ今の部長の説明をお聞きしたところでは、当然、訂正すべき誤りを訂正されたもので、補正予算の内容を変更するものでもありませんので、議案審議は可能であるというふうに思いますので、当委員会としては、ただ今説明のあった議案訂正を踏まえて、ご審議をいただければ結構かと思いますが、このように進めさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長

それでは、そのように進めてまいります。

それでは、理事者の説明を求めます。 清水上水道課長。

上水道課
長

今回訂正ということで、いろいろご迷惑おかけいたしました。

それでは、議案第49号 平成21年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第3号)についてご説明いたします。まず議案書の朗読をさせていただきます。

(議案書朗読)

上水道課
長

今回の補正につきましては人事院勧告に伴う職員給与等、人件費の補正をお願いするものでございます。

それでは、内容につきまして、補正予算書の実施計画書によりご説明いたします。まず、補正予算書の予算に関する説明書の3ページをお願いいたします。1、実施計画の収益的支出で、第1款 水道事業費用、

第1項 営業費用、第1目 原水及び浄水費で3万1千円の増額、第2目 配水及び給水費で8万8千円の減額、第4目 総係費で15万円の増額、第4項 予備費、第1目予備費において9万3千円の減額補正とし、総額を変えずに予備費で調整するものでございます。

それでは、1ページにお戻りください。朗読をもちましてご説明とさせていただきます。

(予算書朗読)

上水道課長 以上、議案第49号 平成21年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第3号)についてのご説明とさせていただきます。なにとぞ原案どおりご承認賜りますようお願いいたします。以上です。

委員長 説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。 浦野委員。

浦野委員 議案書の修正があったわけなんですけども、ちょっと聞いておきたいんですけども。これ、パソコンソフトは例えば1予備費を4予備費と修正されたわけなんですけども、例えば1予備費と打った時にその1が異常であるというふうなサインは出ないんですか。それと数字的な、例えば合計がエクセルでぱちっと出るソフトなんじゃないでしょうか、聞いておきたいと思います。いわゆるエクセルになっているか。

下水道課長 現実的にサインは出ないということでございます。それと、機械につきましてはエクセルでございます。

委員長 他にございませんか。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。議案第49号については、当委員会として可決すべきものとして決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長 異議なしと認めます。よって議案第49号については、当委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

次に、2. その他についてを議題といたします。

何か質疑、意見等がございましたらお受けいたします。

木澤委員。

木澤委員 委員会運営のことにかかわってですが、この機会ですので少し発言をさせていただきたいと思うのですが、これまで予算委員会として過去2年はやってきて、今、予算決算常任委員会という形で、議会のほうといたしましても常任委員会、複数常任委員会制にして、委員会審議の充実を図っていこうということで、どんどんと改善、充実できるものはやっていきたいなという中で、やはりまた3月議会では新年度予算の審査をするにあたってですね、今、議会運営委員会のほうでも委員会審議の充実ということを検討しておりまして、特に予算委員会においては、これまで以上に充実した審議ができるように、理事者の皆さんにもご協力をいただくこともお願いをしていくかと思っておりますので、その点についても今後議会との協議の中でご協力いただけたところについては、ぜひ審査の充実ということを図るにあたりまして、お願いをしておきたいというふうに思いますので、意見だけ申し上げておきたいと思っております。

委員長 他に。 小林委員。

小林委員 すいません、この場をお借りしまして、当町の街路樹の維持管理の考え方についてお聞きしたいんですけども。奈良県の天理街道や奈良市の大宮通り、あちらの街路樹についても、行政側が第一に維持管理につい

て考えて剪定されると、その後に住民さんや観光客からの苦情というのが多いので、今後見直すというふうに理事者側は返答されておられるのですが、当町のほうでもやはり法隆寺の駅から法隆寺までのアクセス道路の途中に東公民館がありますけれども、そのきれいな桜の木を切られた経緯についてちょっとお聞きしたいんですけれども。

町 長

これはもう、本町でもいろいろと議員さんからも、家のところから出ている木とかそういうもんについては伐採するというので。特に奈良中央信用金庫の方から看板が見えないということのご指摘がございまして、そして町としてもやっぱり出ている限りは取っていかざるを得ないということの処置をさせていただいた。住民から、あるいは東公民館に来られる方を聞きますと、せっかくええ桜やのにと、こうおっしゃるわけですが、やっぱり相手方の看板が見えないという状況になった場合ですね、当然切っていかざるを得ないと。そら切り方にもよると思いますけれども、そういう桜の木を傷めない、そういう関係等も十分配慮しなければいけないと思いますけれども。やっぱりこの問題については以前から議会からも、民家から出ている関係等については、町がそういうことを指摘して切るべきやと、いうことをおっしゃいますけれども、相手方にまた言いますと、それはまたうちの問題やからうちで処理するというのもおっしゃいますし。その辺のこれから、今後のそういうことについて協議の場をつくっていくのか、あるいはそういうものをどうするのかということについて、今後十分に検討するというのでしかなくていけないんじゃないかと思っています。

小林委員

なかなか、役場というのはそういうふうに立場になると弱いのかなというふうに思いますね。でも今後やはり他の地域で起こっている現象というのが、やはり景観を守るのは、行政を通さずに住民から直接事業者なり業者に声を働きかけるとすぐに採用してもらったり、ある程度の配慮をしていただけないかということなので。こういう町づくりじゃないですけど、景観づくりに関しては、住民さんのほうからまた中信のほうに要

望していきたいというふうに私は考えております。またこれからの4月頃の桜の咲く季節にどのようなご意見がでるのかというふうなのも楽しみにさせていただきます。確かに鮮やかな桜を前面に出すのか、植栽に配慮されていない景観を前面に出すのかというと、どっちがいいのかなというふうにもちょっと疑問感じるどころなんですけども。

それともう1点、景観についてですけれども、法隆寺の駅前、北側のロータリーに、たまに民間の業者さんの看板がロータリーの中心に掲示されますけど、それは役場としてはご存知あるのかなのか、ちょっとお聞きしたいんですけれども。

町長 ロータリーの所に立看板をされたり、場合によっては葬式のご案内の看板があがっているという現状もございますけども。これは、町としてそういう点についてはやっぱりそういうところにやっぱり十分注意をしてですね、一時的でも設置をしたらいかんということをやっぱり言っていかがるを得ないと思っています。

小林委員 法隆寺駅の北側のロータリー、これ最近の10月にですね、奈良県下の県とNPOとの共同事業の採択で、県民景観学校というのがございまして、その中の奈良県の中で16ヶ所を指定されまして、それをマイクロバス2台で各地域を回られたんですけども、回られた時に1ヶ所に法隆寺の北側のロータリーっていうのが含まれておりましたので。やはり奈良県下の住民さんも注目されている地域というか、やっぱり世界文化遺産の法隆寺へのアクセス口としても、やっぱりJRの駅前からも含まれると認識されておりますのでね。やはりそういう一般の観光客が降りられて、法隆寺に向かおうと思って、北側のロータリーに降りられたら、変な看板が立っているというのはですね、やはり観光客の期待を裏切ることのなると思ってますのでね。やはり斑鳩町の行政として、そういうふうなことに対しては指導をしていただきたいというふうに要望しておきます。

委員長 他にございませんか。 辻委員。

辻委員 今、小林委員の「その他」でいろいろ発言ありましたけども。これ予算決算委員会で、その他やったらなんでも発言できるって感じも受けませんんで、今後議運とか、その辺で、その他の取り扱いについて、協議願いたいということだけ。委員長、議長、議運の委員長に言うのか、その辺はちょっとこう、「その他」の取り扱いについて、これは議会のことでありますので、その辺のところよろしくご配慮願いたいということで要望だけさせていただきます。

委員長 嶋田委員。

嶋田委員 これはもう以前から明らかになっていることで、今さら協議することではないと思います。予算決算常任委員会の「その他」については、予算決算に関しての「その他」、委員の発言があると。今の小林委員の発言は予算決算の発言では、私はないと思っております。

委員長 そしたら、休憩いたします。

(午前10時5分 休憩)

(午前10時8分 再開)

委員長 再開いたします。他にございませんか。

(な し)

委員長 ないようですので、その他についてもこれをもって終了いたします。
なお、お手元に配布しております閉会中の継続審査申出書のとおり、当委員会として、引き続き調査を要するものとして、このように決定することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。議長におかれましては、継続審査の手続きをとっていただきますようお願いいたします。

これをもって、本日の案件についてはすべて終了いたしました。

なお、本日の委員会報告のまとめについては、正副委員長にご一任いただきたいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。

それでは、閉会にあたり町長の挨拶をお受けします。

(町長挨拶)

委員長

これをもって予算決算常任委員会を閉会いたします。
皆さんご苦労様でした。

(午前10時10分 閉会)